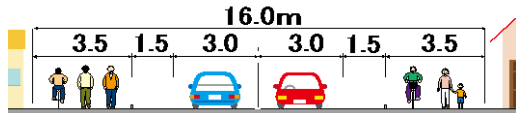


道路整備について

➤ 幹線道路（天地線）

- ・地区外を踏まえた広域的な移動にも対応した道路です。
- ・周辺には駅や学校が立地し、店舗等も多いため、自歩道、停車帯を設定した **16mの幅員** に道路を拡幅します。



➤ 主要生活道路

- ・商業施設への車両の出入りや歩行者等を誘導します。
- ・大型車と小型車が相互に通行でき、安全な歩行空間を確保できるよう、**幅員9m程度**の道路を検討しています。



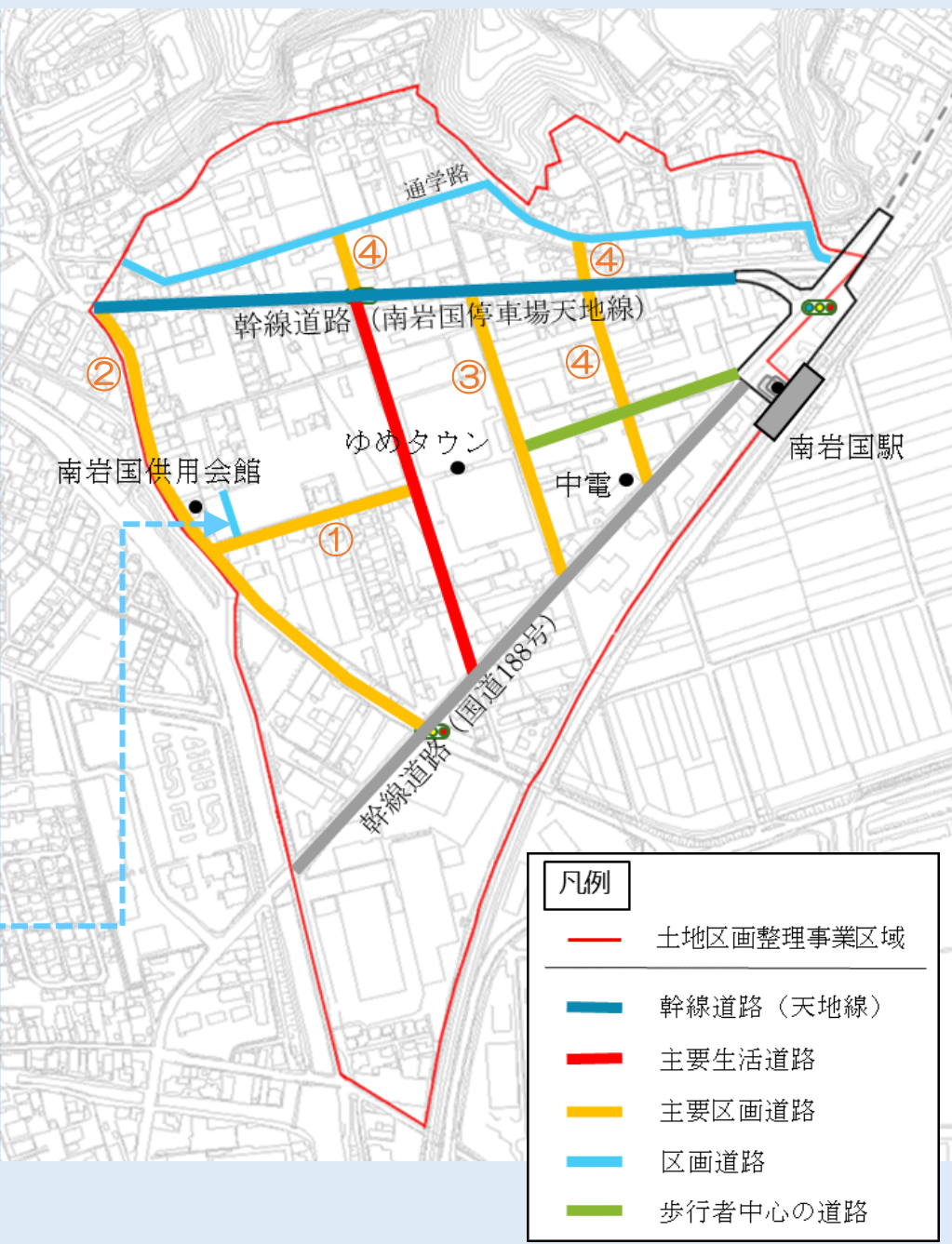
➤ 主要区画道路 ①

- ・商業・住居ゾーンとして、土地利用を踏まえ、地区住民の利用に配慮した道路を整備します。
- ・現在、軽自動車や自転車等が通行しているこの路線を活用したいと考えております。
- ・水路部の暗渠化も含めて、**幅員6～8m程度**への変更を検討しています。
- ・袋小路を解消するため、道路の新設を検討しています。



➤ 主要区画道路 ②

- ・地区内への流入を誘導する道路として整備します。
- ・現況幅員 4.8m～11.5m を踏まえ、狭小区間は**幅員6m程度**の変更を検討しています。



➤ 主要区画道路 ③

- ・地区内外からの車両及び自転車、歩行者が通行することから、安全性に配慮した空間とします。
- ・水路部を暗渠化することにより、**幅員8m程度**の変更を検討しています。



➤ 主要区画道路 ④

- ・地区内の街区を形成する道路です。
- ・狭小区間は**幅員6m程度**への変更を検討しています。



➤ 区画道路

- ・通学路については、水路の暗渠化やカーブミラーの設置などにより、安全性の向上を図ります。

➤ その他の区画道路

- ・色のついていない幅員4m未満の道路については、川下地区で進めている「**狭あい道路整備事業**」と同様のものを南岩国駅前地区でも活用して拡幅したいと考えています。

➤ 歩行者中心の道路

- ・歩行者の移動を目的として、安全かつ安心して歩行できる空間を確保します。
- ・岩国市が所有する里道があることから、この里道を活用したいと考えております。
- ・**3m程度の幅員**を検討しています。両側には、街路灯等を配置し、ゆとりある空間を考えています。



公園整備について

➤ 住居ゾーンの公園

- ・子供たちが安全かつ安心して遊べる公園を整備します。
- ・地域のコミュニティ活動の拠点として、また、災害時には一時避難場所となる場所として整備します。

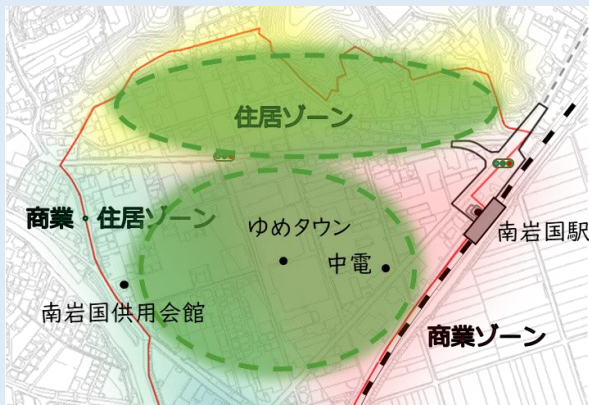


➤ 商業ゾーン、商業・住居ゾーンの公園

- ・地区内の住民や買い物利用者などの憩いの場として整備します。
- ・緑の適切な配置により、良好な街並みを形成します。



※公園の設置場所の選定につきましては、空地や雨水貯留施設との兼ね合いなど、現地状況等を加味しながら地権者の方々と相談させていただきます。
※具体的な整備内容につきましては、事業を実施する際に、皆様にご意見を伺いながら決定していきます。



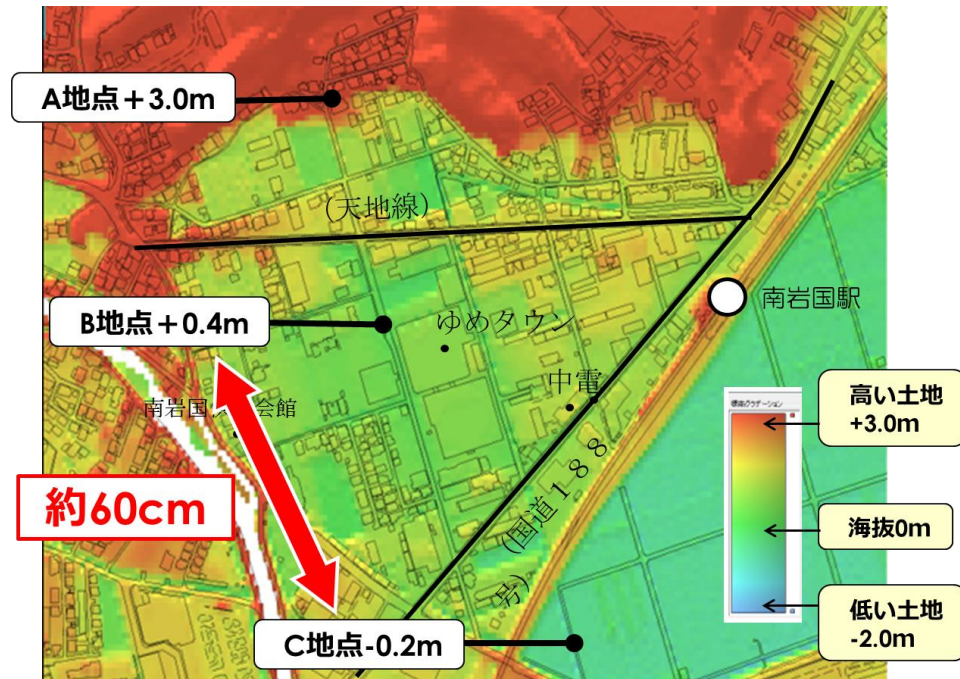
雨水排水対策について

➤ 南岩国駅前地区の浸水が発生する要因について

大雨による浸水被害が発生する要因である地盤の高さや水路の排水能力について、確認を行いました。

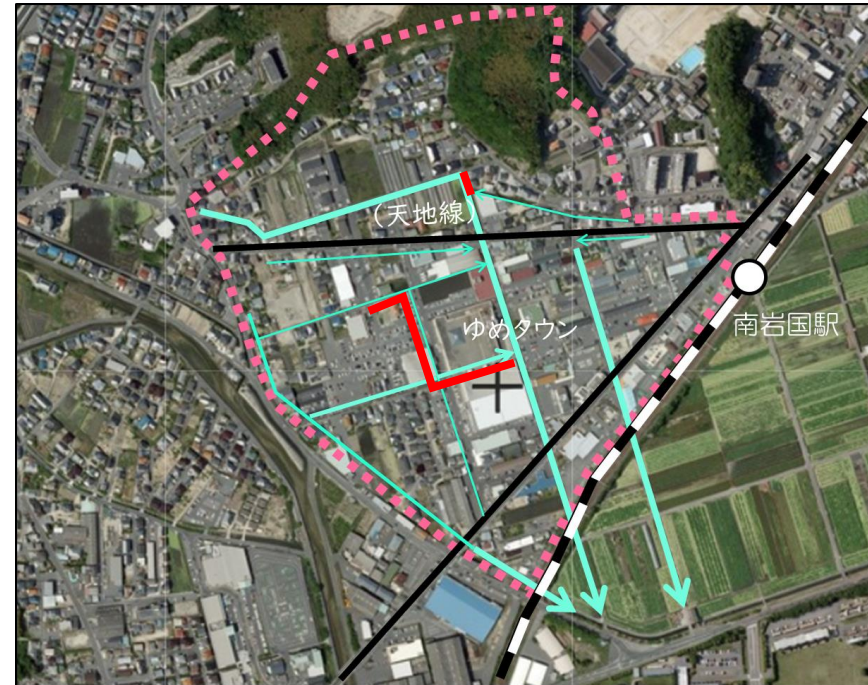
① 地盤高の確認

ゆめタウン前の道路と蓮田地域の道路では、**高低差が60cm程度しかない**ことがわかりました。
このような地形も浸水原因の一つと言えます。



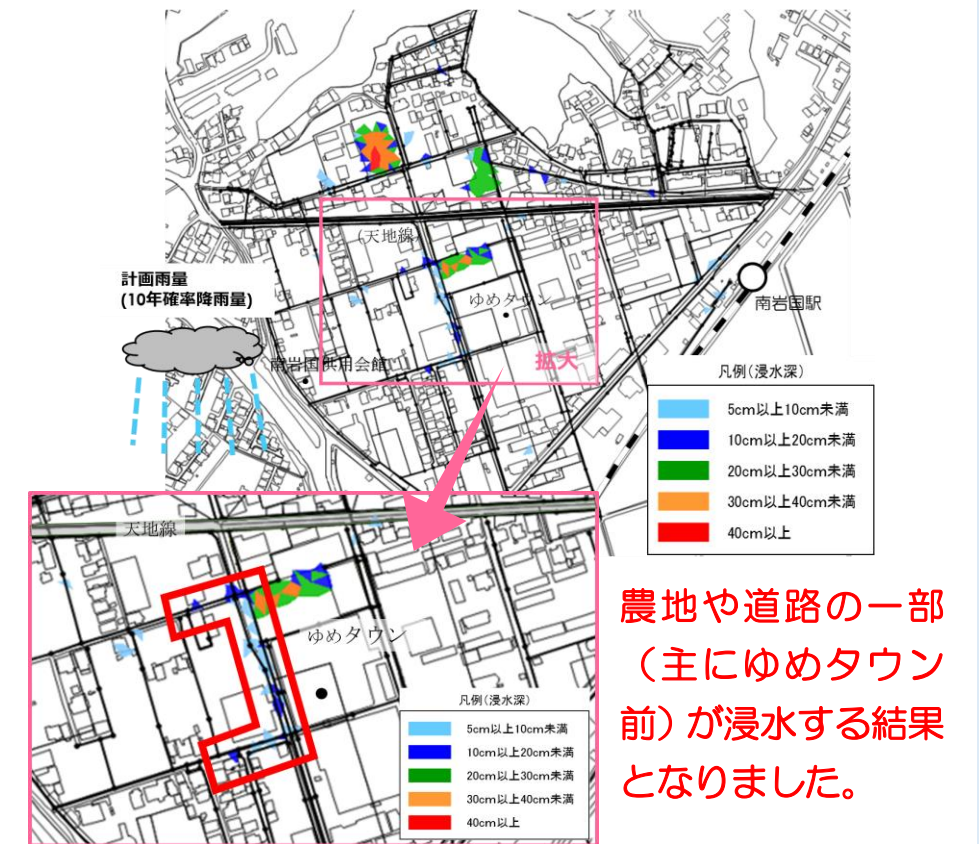
② 排水路の確認

主な水路について、水の流れる方向や断面の大きさなどの確認を行いました。
※赤線…排水能力が不足している区間



③ シミュレーションによる浸水状況の確認

地盤高や水路のデータを使用して、計画雨量を降らした時のシミュレーションを行いました。



➤ 雨水排水対策の素案について

○ 基本的な整備方針

『南岩国駅前地区の浸水対策は、出来るだけ本地区内で解消できる方法を検討する』

○ 浸水の発生要因

上記①～③の確認より、以下のような要因があると考えられます。

- 地盤の高低差が少ないため、水路として十分な勾配を確保するのが難しい。
- 水路の排水能力が不足している区間がある。

雨水排水対策の素案

- ① 水路の排水能力が不足している区間の改修を検討する。
- ② 水路改修では浸水が解消できない場合は併せて、公園の地下などに**雨水貯留施設**を検討する。

